

2024年11月27日

柴本 和夫

① アメリカの話題

- ・ドジャースとヤンキースの戦いは、メジャーのスター軍団の戦いである
この戦いは、まさに「スター・ウォーズ」と呼ばれる
- ・大谷によるアメリカの経済効果～オオタニノミクスと呼ばれる
- ・大谷の相棒のデコピンはMVD (DOG) を獲得。来季は代走デビューとの噂である
- ・イーロン・マスク氏は、マスクで口を塞いでも、トランプ政権には口出しする
- ・アメリカは一位なので、USA。日本は二位なので USB～A が一位でBは二位

② 政治関連

- ・石破総理は、居直って「豹変」した。自民党の衆院選では「票変」した。
- ・野党が言う～政治資金規正法は、天下のザル法。「天ざる」と呼んでいる。
- ・自民党と公明党の都合とは、自公都合です。(自己都合ではありません)
- ・衆議院選挙後の裏金疑惑議員は、落選が続出しても誰も恨まなかった。

「裏マネー」については、誰も「恨まねー」

③ 当選した知事に～まさかの二連発（公職編）（SNS 戦略は諸刃の剣）

- ・逆風を SNS 戦略活用の、「同情論」と「陰謀論」でまさかの復活当選で絶好調
再選・現職復帰で「再藤現彦」の「再登場」～「斎藤嬢」となるのは、オカマの場合
- ・PR会社の SNS 戦略の嬉々としたカミングアウト自慢話が、まさかの勇み足
「公職」選挙法に抵触する疑惑が生まれ、再び逆風を呼ぶ釈明の墓穴に
- ・本当のことを言ったらお利口になれない～選挙プランナーとフランシーヌの場合

④ 玉木党首に～まさかの報道（好色編）

- ・与党を攻めるのは「年収103万の壁」。世間から攻められるのは「不倫の壁」
ちなみに、「東京の壁」は、JR 青梅線の駅名の「河辺」
- ・絶好調の玉木党首が、国会に臨むその朝に、まさかの不倫報道が炸裂
- ・芸人の不倫は文化。政治家の不倫は、「好色」選挙法の違反
- ・不倫報道に、「ん」と口をつむるのはダメです。たまき「ん」はNG（不適切な言葉）
- ・妻に対する謝罪の言葉～「つまらん」ことをした。どうか「妻（つま）乱」しないで
(配偶者の不倫を聞いても、決して「酒乱」や「妻乱」は駄目ですよ)

⑤ ダジャレ系

- ・百獣の王は、ライオンと呼ばれる。百円の王と呼ばれるのはダイソー
- ・ブラックとホワイトの違い
アルバイトで～闇バイトはブラック 健全バイトはホワイト
コーヒー用語～ミルクなしは、ブラック ミルク入りは、ホワイト
- ・花屋の店頭での会話～落語の小話
店員の説明 植物は芽（目）が出ます。葉（歯）も出ます。鼻（花）も咲きます
顧客の決心 それなら私が、そこに、お金の耳を揃えて、買お（顔）う
大谷の活躍で明るくなれた。ジョークサロンで笑って明るくなれた
大いに笑おう ジョークサロンで